

□議員名：中村博行

## 1 オートレース事業について

論点	船橋場廃止による売上への影響はどうか。また、入場者数の状況、サテライトや電話投票の売上状況はどうか。
回答	船橋場廃止後も場外発売の推進や活性化の努力により影響はほとんどない。本場入場者数も前年並みで、売上状況は電話投票やサテライト場外発売が好調で、当初予算額の79.3億円以上を見込んでいる。新たに岡山県サテライト笠岡もオープンした。

論点	レース場の活用など具体的な売上向上策はどうか。また、四重勝単勝式の発売が始まるが、他の方式の検討はなされなかったのか。
回答	まちづくりにつながる取組を進めている。レース場が市民に理解される施設として、パラサイクリングや地域のイベント等への活用を図っていく。「四重勝単勝式」については日本写真判定の提案から関係団体が慎重に協議した結果、実施となったものである。

論点	日本写真判定との関係強化は非常に重要だが、具体的連携はどうか。また、契約更新の見通しとそれに伴う財政計画は示せるのか。
回答	包括的に委託していることから宣伝、警備、施設管理等の連携が最も重要な関係だが、山陽オートレースを活性化していくための共同事業として、更に発売機会の拡充や新事業の展開などについても協議をしている。契約については更新の見込みである。

## 2 若者の政治参加、高齢者対策について

論点	選挙権が18歳に引き下げられ、7月に初の参議院選挙が実施されたが、年齢別の投票率など分析はされたか。
回答	この選挙における投票率は18歳が44.32%、19歳が35.08%で、両方では39.77%であった。これは30歳代と40歳代の上に位置しており、ほぼ全国の投票状況と同じ傾向にある。この結果は将来に期待できるものと思われる。

論点	県が高校生議会を実施したが、評価はどうか。また参考にする考えはないか。中学生議会の開催についても検討されてはいかがか。
回答	主権者としての自覚を促すため、中学や高校の生徒会役員選挙における投票箱や記載台等の貸出、出前講座等を実施している。高校生については選挙権を持つ生徒が在籍しているし、中学生議会についても色々な意見を聞きながら研究していきたい。

論点	高齢者の投票機会の確保のため、移動投票所車両すなわちワゴン車の導入を検討してはどうか。
回答	導入された先進地を調査した結果、若干の投票環境の向上にはなるが、余り大きな向上にはならないと判断している。特に大きく状況が変わらなければ、今のところこの移動投票所についての導入の予定はない。

### 3 住宅政策について

論点	優良な空き家の活用について、空き家バンク設置の進捗状況はどうなっているか。
回答	空き家対策を総合的かつ計画的に実施するための空き屋等対策計画の策定を考えている。空き家バンクの設置についてもこの計画の中で検討する。具体的には空き家の実態把握を行い、専門家で構成する協議会を組織し、専門的知見を参考にシステムを構築していく。

論点	理科大生をはじめ、教授陣の宿舍の確保は喫緊の課題と思うが、それについての計画、考えを問う。
回答	大学だけの所管では限界があり、産学官連携協議会に提示し対応していく。公立化に伴い、大学周辺には学生対象のアパートが多く新築された。財源のこともあり、民間賃貸住宅の整備状況を勘案しながら、今後検討していくことになる。